

施設の点検、補修及び修繕の実施状況

部局名等	点検日	内容
医学系研究科放射性同位元素使用施設	令和6年7月25日 令和7年1月21日、27日	壁にギス、塗装のほがれ、及びヘアクラックが生じていたため、シーリング材で充填補修を行い、ビニル塗装にて対応済み。また、幅木の接合部および天井と壁の取り合いにクラックおよび隙間が生じていたため、同様にシーリング材で充填補修を実施済み。
医学系研究科保健学専攻放射性同位元素等使用施設	令和6年9月1日～9月30日 令和7年3月1日～3月31日	異常なし
医学部附属病院放射性同位元素等診療施設	令和6年6月11日～令和6年7月2日、 令和6年12月13日～令和7年1月16日	異常なし
歯学部附属病院放射性同位元素等診療施設	令和6年9月25日 令和7年3月26日	異常なし
工学研究科放射性同位元素等使用施設	令和6年7月5日～7月19日 令和7年1月10日～1月20日	標識が退色していたため、塗り直しあるいは標識の交換を行った
生命機能研究科放射性同位元素等使用施設	令和6年9月19日～9月25日 令和7年3月5日～3月17日	・RI実験室および汚染検査室で使用するGMサーベイメータが複数台故障している。現在、1台のみ使用可能。 →RI実験室では、GMサーベイメータ1台を共有し使用し、汚染検査室はハンドフットクロズモニタによる検査と、汚染の際には電離箱式サーベイメータによる測定で対応している。複数の使用者の同時使用を考慮すると、複数台のGMサーベイメータの設置が必須である。故障している機器の老朽化を考慮し、次年度の予算として、修理費用は計上せず、GMサーベイメータ2台の新規購入費用を計上する予定。 ・R7.3.3に、放射線中央監視装置にHVエラー表示が出たため確認したところ、排気中のベータ線を測定するためのベータ線ガスモニタが作動しないことが分かった。 →R7.3.6にβ線ガスモニタ本体電源の入切操作による復旧を試みたが、エラーは解消されなかった。R7.3.7に、アロカに故障の原因について調査を行ってもらったところ、測定器本体の制御基板の損傷があることが分かった。すでに部品供給が停止しているため、修理不可であることが分かった。現在、更新にかかる費用の見積もりを依頼中。 ・貯留水の放射線量を測定するためのβ線、γ線の水モニタが作動しない。 →R5.4.19に、故障の原因について調査を依頼したところ、放射線量測定器へサンプルを送る電磁弁の故障が判明した。修理の見積もりを

		お願いしたところ、システムの更新を含めて修理費用が、25,927,000円となることが分かり、現時点での修理は保留とした。 現在、排水時の放射線量の測定は、RI使用量をもとに計算により算出する方法で運用している。
微生物病研究所放射性同位元素実験室	令和6年7月8日～7月12日 令和7年1月6日～1月10日	異常なし
蛋白質研究所放射性同位元素実験室	令和6年8月19日～令和6年8月23日 令和7年2月10日～令和7年2月15日	実験室等で気流の流れが室側でなく廊下側に流れていた。非常口扉の裏側の標識(管理区域)を交換
レーザー科学研究所放射性同位元素等使用施設	令和6年4月1日～4月10日 令和6年10月1日～10月10日	異常なし。
附属ラジオアイソトープ総合センター(吹田本館)放射性同位元素等使用施設	【附属ラジオアイソトープ総合センター(吹田本館)放射線施設分】 令和6年7月2日～7月3日 令和6年12月25日 【医学科放射線施設分】 令和6年7月25日 令和7年1月21日、27日	【附属ラジオアイソトープ総合センター(吹田本館)放射線施設分】 異常なし 【医学科放射線施設分】 壁にキズ、塗装のはがれ、及びヘアクラックが生じていたため、シーリング材で充填補修を行い、ビニル塗装にて対応済み。また、幅木の接合部および天井と壁の取り合いにクラックおよび隙間が生じていたため、同様にシーリング材で充填補修を実施済み。